

日月会（仮称）代表者のフォロ 第2回 議事録

日時 2010.01.30(Sat.)	時間 15:20 - 17:15	場所 鷹の台校舎 8号館コンピューター室	記録 寺阪桂子
出席者(敬称略) 真壁智治(2期), 佐奈芳勇(14期), 更田邦彦(16期), 酒向昇(21期), 小野さやか(33期), 内海聡(34期), 寺阪桂子(34期), 小倉壮平(39期), 東條巖(42期)			
陪席: 井上瑤子(11期), 松家克(5期)			
欠席者(敬称略) 須藤和由(6期), 布施茂(17期), 小倉康正(18期)			

議題	備考
<p>1. 新規メンバーの紹介と今後のメンバーの展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小野さやか氏(33期)、小倉壮平氏(39期)、東條巖氏(42期)が新規メンバーとして参加。更田会長より日月会執行部の業務と代表者フォロ発足の経緯を説明。 ・ 今後のメンバーの展望として、河野氏か田村氏(28期)に参加してもらうよう依頼。 ・ 芸大のOB会は年代間ギャップにより分裂しつつある。日月会がそうならないよう年代間ギャップを埋めていく方策を考えていかななくてはならない。フォロのメンバーに限らずイベントなども含め。 	酒向氏より
<p>2. 「代表者のフォロ」の年間スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本案を更田会長より説明の上、メンバーで協議。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回会議: 4月末頃/フォルマ・フォロセミナー時 ○ 第2回会議: 7月末頃/執行部との連携を図る。 ○ 第3回会議: 9月末頃/フォルマ・フォロセミナー時 ○ 第4回会議: 10月末頃/芸術祭(ホームカミングデー)時 ○ 第5回会議: 12月末頃/パーティカル・レビュー(日月会賞)時 ○ 第6回会議: 1月末頃/建築祭時 ○ 第7回会議: 3月末頃/日月会総会時 ・ フォルマ・フォロセミナーには建築の分野にとらわれず、他分野(工芸・絵画・建築史家)で活躍する人を呼ぶのも、良い。 	

3. ホームカミング・デイの開催について - 断面展へ向けて

① ホームカミング・デイとはなにか？

- ・ ホームカミング・デイとは建築学科の同窓会のこと。
- ・ 大学のプロモーションをする機会でもある(プロモーション・デイの別名でもある)。

② 断面展へ向けて、今後どのように人を集めていくか？

- ・ 断面展を開催するには多くの準備が必要であり、まだ体制が整っていないのではないか。
- ・ まずは小さい規模の単位で集まる企画として、ミニ断面展(5~10期ごとの展示)などはどうか。
- ・ いまは前段階として OB 同士のつながり、人を集めるためのしきみを作っていくことを重視したほうが良いのではないか。そのためのホームカミング・デイを開催するのが良い。
- ・ 各学年の横のつながりの他に、縦のつながりを図るものとして、ゼミ/スタジオのつながりを作ることはどうか。ゼミ/スタジオごとの代表幹事を決めて、OB を集めるきっかけを作っていくてはどうか。

*教授が退官されて今はないゼミ: 芦原・磯崎・坂本・織本・寺田・川瀬・竹山・保坂

③ ホームカミング・デイをどうつくっていくか？

- ・ 主任教授がホストになって、訪れる卒業生を迎えるようなシンボリック要素や、祭りなど目玉になって盛り上げられる企画が必要。(芸大の例は、『矩尺祭』(くじゃくまつり)といって、立体構成の即日課題をやって教授が講評する)
- ・ 卒業生と在校生の関係が密になるように、卒業後10年以内程度の人が集まりやすい企画をつくるべき。
- ・ 大学の教育方針を伝えるために研究室と連携をとる必要がある。

4. 日月会賞の今後と今回の反省

① 日程について

- ・ 建築学科開催のバーティカル・レビューの翌日でよいか

② 審査員について

- ・ 竹山賞受賞者を審査員長とし、10代ごとの代表者を審査員とする。
- ・ 審査員長の交通費について、次回予定の岡江氏また竹中氏(兩名?)は特に遠方なので検討が必要。..執行部会で要検討。

③ 対象作品について

- ・ 2年生後期課題も対象として欲しいと小宮先生から打診あり。展示場所やスケジュールの制約もあるので、先生方と相談が必要。
- ・ 一人一作品という条件で応募をかけたが、二作品出している学生もいたので、事前にチェックをし、徹底させる。
- ・ 作品数が多く、審査時間内に全作品をきちんと見るのが大変だった。作品時間と場所の制約があるので、作品数を絞るために学生によって投票し、選抜作品とするのはどうか？

④ 各賞の設定について

- ・ 新月賞は審査員とOBの票を集めて投票した。学生の傾向を見るのには良い機会だった。
- ・ 全体講評と受賞作品の選考理由、また受賞者のコメントをHPに載せて公開して欲しい。

⑤ 当日のスケジュール・審査内容について

- ・ 審査時間が足りなかったなので、審査時間を長くしたほうが良いのではないか？
- ・ 学生の授業時間や撤去終了までの時間の制約があるので、全体のスケジュールをずらすのは難しい。
- ・ 課題を事前に(少なくとも1週間前)には審査員に配布すれば、当日費やす時間を減らせる。
- ・ 展示作品のマップに名前を記入してわかりやすくしたほうが良い。...ナンバリングした方が良いのかも。
- ・ 審査員を二人一組にすることで、学生の発表時間を短縮できる。

<p>5. その他、執行部に求めることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究室の協力、とくに助手とのつながりが今後の活動に不可欠なので、布施氏を日月会と研究室のパイプ役として依頼する。 ・ HP に OB の求人コーナーを設けるようお願いしたが、まだ実施されていない。執行部で早く対応してほしい。 ・ 建築祭や卒業制作展などに足を運んで、現在のムサビ建築学科の教育方針を知ってこそ、受験生誘致の活動ができるので、卒業生と在校生のつながりを密にしていける必要がある。 ・ 研究室に OB コーナーを設けて、作品を展示し、卒業生がどんな活動をしているのか閲覧できるようにしくみはどうか？ ・ YEAR BOOK - 1 年ごとの作品集を作ることを研究室から依頼されているが、その前段階として、参考作品や課題の内容などを研究室の HP 内でもっと充実させて欲しい。(各スタジオの性格もよく分からないので) ・ 次回の代表者フォロの日程→3月日月会総会時を予定。 	
---	--